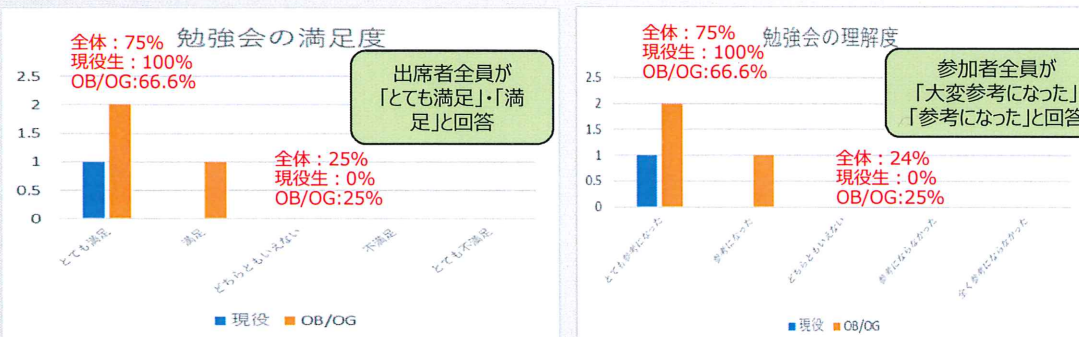


第7回産業勉強会の実施結果サマリー

<実施概要>

日付	テーマ	講師	卒年	講演内容
2019/2/3	『オペラの興行における予測と舞台制作コーディネーターとしての多様性』～日本とヨーロッパ文化の橋渡しの舞台裏～	山下 由香	91年卒 (第1期)	近年、外来オペラの招聘事業が減少している。人の心を揺さぶる音楽、勇気や希望を与える歌詞や台詞、演技や舞台美術など視覚的な芸術の融合により創作された総合舞台芸術オペラ。自らが感動を覚えたオペラをより身近な文化にするには、舞台制作者の目線から本番イタリア・オペラが持つ魅力や舞台裏を伝え、招聘を続けることが重要である。日本のオペラ上演の現状や市場を分析し、その需要を予測する感覚を養う事が興行を成功へと導き、招聘の継続へとつながっていく。一方、オペラ招聘事業の支柱の一つである舞台制作では、日本と各国の劇場の常識や概念の違いが時に大きな障害となる。そのため人と人を繋ぎ距離を縮める役割として多様な価値観を受け入れ認める、視点のダイバーシティが求められる。オペラは人の心を豊かにする、究極の創造芸術である。

<出席者からのアンケート結果> ※有効回答者数；4名 内訳）現役男子Mgr.1名、OB3名の計4名



<勉強会の風景>



<参考資料の一部抜粋>



事務局からの総括

- ✓ 参加者が少なかったことは残念であった。集客力に関して事務局としての力不足も痛感した。内容はとても素晴らしいもので、参加者は大変満足し、有意義な勉強会となった。
- ✓ 山下さんは、20数年もの間、『オペラ』というヨーロッパの伝統文化を実際にヨーロッパの劇場やアーティストと交渉して日本へ招聘したのち、全国ツアーすべての企画・運営を管理し、成功まで導く仕事をされておられる。音楽や動画も流していただきながら、制作の舞台裏から失敗談まで参加者全員が初めて聞か話ばかりで、決して本やメディアだけでは得られない知見を披露頂いた。
- ✓ 『オペラ』をはじめとする伝統芸術は、AI・ロボットでは真似できない生身の人間による演舞で、人に感動を与える素晴らしい芸術であることを再認識する良い機会となった。
- ✓ 今回は、参加者があまり集まらなかったが、事務局としては、是非とももう一度、最新のヨーロッパの最高芸術『オペラ』をご紹介いただくことで、普段知ることのできない『オペラの世界』の扉をたたき、皆で、その世界を探索したいと考えている。